

(様式3)

## 平成27年度 指定管理業務の評価表

### 1 施設概要

施設名	伊勢市二見デイサービスセンター	所在地	伊勢市二見町茶屋310番地
指定管理者名	社会福祉法人 伊勢市社会福祉協議会	指定期間	H23年4月1日からH27年3月31日
設置目的	高齢者・身体障がい者、その家族の福祉の増進を図る。		
業務内容	高齢者等が安全で安心して利用できるよう施設管理運営、設備維持管理、防災対策を行う。		
施設概要	建物面積:敷地面積3,624.13㎡、建築延べ面積871.47㎡ 施設内容:鉄骨造1階建て 事務室、デイサービスルーム、日常生活訓練室、浴室、特殊浴室、生活交流室、相談室、調理室 等		
職員体制	事務職員1名		
施設所管課名	福祉総務課		

### 2 収支状況

		(A)	(B)	(C)	(単位:円)
		平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度	比較(C-B)
事業 収支	収入				
	指定管理料	9,074,000	9,021,000	10,146,000	1,125,000
	利用料金				
	その他				
	計(a)	9,074,000	9,021,000	10,146,000	1,125,000
	支出				
	人件費	1,502,048	1,643,994	1,892,314	248,320
	事業費支出		5,030,918	4,553,860	△ 477,058
	事務費支出	7,625,093	2,122,196	2,435,039	312,843
	その他	110,000	116,862	82,970	△ 33,892
計(b)	9,237,141	8,913,970	8,964,183	50,213	
収支差引額(a)-(b)	△ 163,141	107,030	1,181,817	1,074,787	

最新年度(C)と前年度(B)に収支の増減があったものについて記載	平成27年度は、設備、備品で修繕するものが多く、また水道光熱費は経費削減に努めた。
----------------------------------	---

### 3 評価 (別表様式4に基づく総合評価)

指定管理者	市
事業計画に沿った管理を行った。 管理業務を実施するにあたり、安全性を意識しながら経費削減を図り、地域の民生委員と連携することで、地域の福祉力向上に貢献した。 また高齢者、障がい者等が利用しやすい場を提供しサービス向上に努めた。	施設の管理については、適正に行われていた。 サービスの質についても、高齢者、障がい者等が利用しやすい場の提供など、利用者への配慮は評価できるので、今後もサービス向上に努めてもらいたい。

(様式4)

## 指定管理業務の項目別評価表

評価項目		評価				
		指定管理者		市		
業務運営項目	評価の基準	判定	評価理由	判定	評価理由	
施設設置目的の達成	①施設の目的や基本方針の理解	施設の設置目的に基づいた管理運営上の基本方針を理解していたか。	A	施設の目的や基本方針を十分に理解をし管理を行った。	A	施設の設置目的に基づいた事業計画書が作成されており、日々の業務にも理解の程が見受けられた。
	②施設設置目的の達成度	施設の管理運営を通して、施設の設置目的は達成されたか。	A	施設の管理運営を通して、施設の設置目的は達成できた。	A	施設の利用状況、管理状況から施設の設置目的は達成できたと思われる。
	③利用者数	利用者数は当初の目標を達成したか。	—	—	—	—
	④運営状況	施設の供用日数・供用時間は守られたか。また、適正な施設の運営が行われたか。	A	事業計画通りの共用日数・共用時間を遵守し、適正な施設の運営を行った。	A	事業計画書に計画された運営が行われた。
	⑤職員の配置状況・勤務実績	職員の配置状況・勤務実績は適正であったか。また、業務執行体制(作業責任者・業務担当者)は明確になっていたか。	A	責任者・業務担当者は明確であり、職員の配置・勤務は適正であった。	A	職員構成、人員配置、指令命令系統の届出があり、業務執行体制は明確になっていた。
	⑥意思疎通	管理運営業務全般について、市と指定管理者の責任者間で十分な連絡調整がなされていたか。	A	事業計画通りに業務を実施し、必要時に十分な連絡調整を行った。	A	事業計画書どおりの毎月の報告を行うことができた。突発的な協議事項についても、十分な連絡調整が行われた。
	⑦各種管理記録等の整備・保管	各種業務計画書、点検記録、整備・修繕・事故・故障等の履歴等の各種管理記録等が整備・保管されていたか。	A	点検記録、修繕記録等、各種整備・保管が適正に行われている。	A	各種の記録については、適正に整備・保管がなされていた。
	⑧地域の振興	地域や地域住民との交流・連携に関する取り組みを実施し、地域の振興が図れていたか。	A	地域の民生委員、ボランティア、住民等との連携を図り、地域交流の拠点としている。	A	地域住民との交流を図る取り組みが実施されていた。
	⑨使用許可等	使用許可等申請が適正に行なわれていたか。	—	—	—	—
	⑩利用料金等の徴収状況	徴収、減免、還付等は帳簿等が作成され、適正に行なわれていたか。	—	—	—	—
	⑪個人情報	個人情報の取扱いがきちんとなされていたか。	A	来館者の記録等では、個人情報の取り扱いに十分な注意を払った。	A	個人情報の取扱いがきちんとなされていた。
	⑫法令遵守	関係法令を遵守していたか。	A	関係法令を理解し、遵守した。	A	法令違反は見受けられなかった。

サービスの質の向上	①施設利用状況及び利用者数増加への取り組み	利用者数の増加や利便性を高めるための具体的な取り組みが行なわれていたか。	-	-	-	-
	②利用者の平等な利用	個々のサービスについて、対応職員によって格差が生じないよう、施設のサービス水準を確保するための取り組みを行なったか。	-	-	-	-
	③適切な情報提供	全ての利用者が情報を得ることができるよう適切な利用情報の提供を行なったか。	A	館内にポスターの掲示、プリントの配布、ボードの設置をし、情報の提供を行った。	A	利用者が情報を得ることができるよう、適切な利用情報の提供が行われていた。
	④非常時・緊急時の対応	緊急時のマニュアルが整備され、従業員訓練の実施や事故発生時・緊急時の対応は適切か。	A	緊急時のマニュアルを整備し、年2回の避難訓練(火災想定、地震津波)を実施した。またBCP計画を作成した(平成26年)。	A	緊急時のマニュアル整備、訓練の実施を行い、事故発生時・緊急時を想定した対応を行った。
	⑤苦情解決体制及び対応	利用者からの意見・苦情等を受けて迅速かつ適切に処理できる体制が整っていたか。また、事故、苦情に対する対応は適切であったか。	-	-	-	-
	⑥自主事業	利用者ニーズに即した自主事業が行なわれていたか。	-	-	-	-
	⑦事業の評価	事業実施後に確認・見直しが行なわれ、次年度へつなげる取り組みがなされていたか。	A	事業報告書を作成、それを元に反省、提案、見直しを行い、次年度につなげている。また、今回の評価も利用し伊勢市とも協議を行い、次年度へつなげていく。	A	指定管理者側での確認、見直しが行われている。
施設・設備等の維持管理	①建物・設備の保守点検	建物・設備・植栽等が適切に管理され、安全性の確保、良好な機能及び美観の保持がされていたか。	A	定期的に施設の安全点検、機能確認、美観確認を行い、記録にまとめている。	A	定期的な安全点検、機能確認、美観確認が行われており、記録もなされている。
	②備品等の管理	備品の管理・点検・保守は適切に行なわれていたか。	B	備品について丁寧な扱いを心がけた。H27年度に備品確認を行い、一部に確認が取れなかったものがあつた。	B	一部の備品について、確認が取れないものがあつた。
	③修繕業務	点検のよって異常が認められた場合は、速やかに修繕・交換・整備・調整等の適切な処置を講じ、その内容を記録されていたか。	A	異常があつた場合は、機器にあつた対応を行い、記録をとつた。また、速やかに伊勢市に報告を行った。	A	応急処置は適正であり、伊勢市への報告も迅速であつた。
	④清掃業務	清掃は適切に行なわれていたか。	A	職員による毎日の日常清掃と業務委託業者による月に1回の清掃を計画通りに行った。	A	予定通りの清掃を行った。
	⑤防犯体制	鍵の管理及び防犯に対する対策、対応は適切だったか。	A	鍵は定められた箇所に保管し、センター長が管理をした。また、夜間休日には業務委託の警備会社で警戒を実施し、異常時の連絡を速やかにできる体制をとつた。委託期間中に防犯に関する問題はなかつた。	A	鍵の管理は適正に行なわれていた。

〈各項目ごとの判定〉

判定	評価基準
A	協定書・仕様書・事業計画書に定める内容を忠実に履行、又は水準以上の運営がなされ、優れていると認められる。
B	概ね、協定書・仕様書・事業計画書に基づいて運営がなされているが、一部に改善の必要性が認められる。
C	協定書・仕様書・事業計画書に定める水準の運営がなされておらず、早急な改善が必要である。